

節目年齢歯科健診結果票の見方

今回の健診を機会に、年1回の歯科健診を受けましょう。

歯の状況

- / :健康な歯
- C :要治療のむし歯
- O :治療済の歯
- △ :入れ歯などが必要な歯
- ◎ :入れ歯などになっている歯

むし歯は、症状の軽い小さな時に治療しておくことが大事です。大きくなって、痛みが出始めると歯を削る量も多くなり、ひどい時には歯の神経を取らなくては痛みが治まらない事もあります。早期発見、早期治療を心がけましょう。

お口の中の清掃状態です。普通・不良の場合は歯科医院で歯と歯ぐきとの間の掃除や、歯磨きの方法、歯ブラシの選び方をチェックしてもらいましょう。

それぞれのチェックのある項目について、歯科医院にご相談ください。

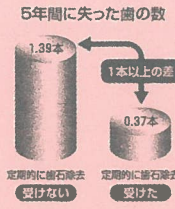
永久歯は、「親知らず」まですべてではえると32本です。生涯にわたって自分の歯で食べることができるように、80歳まで20本の歯を保つことを目標にしましょう。歯が少なくなっているかたも、今ある歯を大切に保つように努めましょう。

歯周病は、歯を失う一番の原因であり、糖尿病、心臓病(狭心症・心筋梗塞等)、脳梗塞、関節リウマチ、内蔵型肥満、早産・低体重児出産、肺炎等、全身の健康に悪影響を与えることも分かっています。

今回の歯科健診を機会に、かかりつけの歯科医療機関を持ち、年に1回はチェックを受けましょう。

成人を対象とした歯周病予防の調査によると、定期的に歯石除去を受けると、受けなかった場合に比べ、5年間で1本以上の歯の喪失防止につながる事が判っています。

最低でも年1回は歯石を取りましょう。



残念ながら、あなたのお口の中には入れ歯などが必要です。歯が抜けたままで放っておくと、隣の歯が傾いてきたり、かみ合わせの歯が伸びてきたりして、うまく噛めなくなる可能性があります。そうすると、あごの関節に異常をきたしたり、偏頭痛があったり、体調も悪くなったりと全身的にも悪影響を及ぼします。

勇気を持って、歯が抜けた部位には入れ歯などを入れましょう。

現在、あなたのお口の中に残っている歯の本数です。

歯石の付着状況です。軽度・中程度の場合は、なるべく早く歯石を取って、歯周病が進行しないようにしましょう。

歯周病など、あなたのお口の中は治療が必要な状態です。早急に歯科医院で治療を受けましょう。

現在歯・喪失歯の状況(喪失歯のうち、補綴処置の不要な歯には×を記入)

右	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	左
健康な歯の数		要治療のむし歯の数		治療済みの歯の数		あなたの歯の数の合計		入れ歯などが必要な歯の数		入れ歯などになっている歯の数							

口腔清掃状態

● 1. 良好
● 2. 普通
● 3. 不良

歯石の付着

● 1. なし
● 2. 軽度(点状)あり
● 3. 中等度(帯状)以上あり

その他の所見

● 0. なし
● 1. 歯列咬合
● 2. 顎関節
● 3. 粘膜
● 4. 義歯不適合
● 5. その他

判定区分

● [●] お口の中は良好な状態です。
● [●] 歯周病を疑う所見があります。
● [●] さらに詳しい検査や治療が必要な状態です。

実施医療機関名

所在地
名称
管理者氏名
電話番号

医療機関コード

印

今回の健診で、あなたのお口の中は良好な状態でした。これからも良い状態を保つため定期健診を忘れずに。

それぞれのチェック項目について、早急に歯科医院で、指導又は治療をうけましょう。